

まちづくり

Vol. 217
(H26. 2. 7)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

メールニュース

今号の記事

- 平成25年度「手づくり郷土賞」が選定されました
 - さっぽろ景観総選挙、景観大喜利が開催されました
 - 「住宅取得に係るすまい給付金制度及び長期優良住宅化リフォーム推進事業に関する説明会」の開催
 - 「平成25年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会」の開催
- まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで
※配信希望は随時受け付けております。

各項目の○をクリックすると
各項目見出しに
ジャンプします

ふるさと 平成25年度「手づくり郷土賞」が選定されました

1. 北海道内からは『美瑛川さと川づくりー未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」を作ろうー』が選定されました

「手づくり郷土賞」とは、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動を一体の成果として発掘し、国土交通大臣が選定・表彰する制度です。

本年度も全国各地から46件の応募があり、道内からは「一般部門」で、「NPO法人グラウンドワーク西神楽」の活動が高く評価され、受賞いたしました。

2. 活動の概要

地域の若手農業者が平成5年から行っているまちづくり活動の中で、阪神大震災の被災児童23名の疎開を受入れたところ、都会から来た子供達が見違えるように元気になって帰郷したことから、自然や田舎の偉大さに気付きました。

その後、地域と関わりの深い美瑛川・辺別川の川づくりを住民主体で行うため、「NPO法人グラウンドワーク西神楽」を設立、美瑛川さと川づくり事業を発足し、ピオトープやフットパス整備、環境学習、シンポジウム等を実施し、今年で16年目となります。

また、「まちづくりボランティアの目的は地域の課題を解決するため」と考え、課題を整理、受け皿となる専門委員会を組織し、河川を中心とした歴史の継承や自主防災組織の立上げをめざし、高齢者福祉等を意欲的に実践しており、10名程度で始めた活動は現在100名を超え着実に地域に根ざしています。

これまでの活動や、年間来場者が4万人を超える手づくりパークゴルフ場の整備等により美瑛川・辺別川は地域住民の交流の場となっています。



地元小中学校4校と河川環境を活用した自然観察会を年間約8回実施しており、今年で16年目を迎えます。



手づくりの自然散策路を活用して、地域住民による環境学習などを実施しています。

3. 地域の高齢化、空き家問題への新たな挑戦

川づくりの活動と共に、地域の抱える高齢化、空き家増加等の諸問題解決に向け、**冬季集住・二地域居住**の取組を試みています。

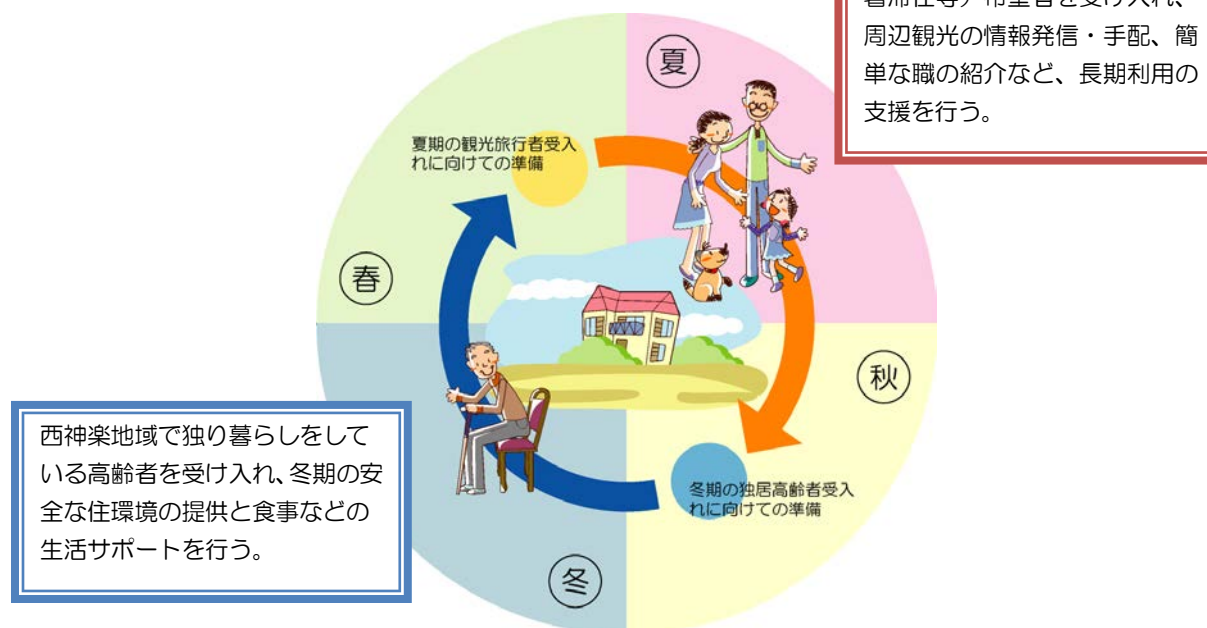
冬季集住とは地域の空き家となっている民家等を利用し、冬期間に地域のお年寄りが集まって共同生活をする実験的な取組です。これにより、冬期間の除排雪の苦勞や一人暮らしの不安が解消され、安心して生活が出来る等、高齢者の新しい生活スタイルの確立を目指します。

一方、**二地域居住**は、冬季集住に利用した空き家が夏場無人となるため、自然豊かな避暑地として道外の方々に長期滞在していただくもので、これらの実践的な取組は先進事例として各方面から注目を集めています。



試みに参加した皆様からは好評で、年々参加希望者が増えています。

冬季集住・二地域居住で目指す将来像



≫もっと詳しく

▽報道提供資料

http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/press/press_h2601/15_tedukurifurusato.pdf

▽手づくり郷土賞について

<http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chosei/furusato.html>

●活動主体

NPO法人グラウンドワーク西神楽
北海道旭川市西神楽南2条2丁目666
TEL：0166-75-5305
<http://www.gwnkagura.org/>



さっぽろ景観総選挙、景観大喜利が開催されました ～好きです。さっぽろ（個人的に。）～

「好きですさっぽろ個人的に運営委員会」と札幌市は、市民主体の景観資源選出事業「好きです。さっぽろ（個人的に。）」の取組として、1月26日、「第1回さっぽろ景観総選挙」とトークイベント「景観大喜利」を札幌駅前通地下歩行空間北2条広場で行われました。

この取組は、市民ひとり一人が個人的に好きな場所や大切な風景を集めて共有することで、新たな景観（価値）を生み出し、まちの中で活かしていくものです。札幌市とNPO法人北海道冒険芸術出版、札幌大通まちづくり株式会社など、多様な経験・ノウハウを有するメンバーで構成される「好きですさっぽろ個人的に運営委員会」が協働で実施しています。

14時から行われたトークイベント「景観大喜利」では、札幌市内のまちなみ等から出されたお題に対して、まちにまつわる多様な職業の方々が、回答者として景観を自由に楽しく表現し、様々な名回答・珍回答が飛び出しました。

引き続き、16時から開催されたAKB48選抜総選挙に見立てた(?)「第1回さっぽろ景観総選挙」では、昨年10月から公募した個人的に好きな場所や風景等の中から、多くの市民のみなさんに投票していただき、今回、当選した48ヶ所の景観が発表されました。

投票の結果、栄えある第1回さっぽろ景観総選挙で第1位となったのは、「石山緑地」に決定しました。

(その他、2～10位までは次のとおり。2位「北大銀杏並木」、3位「東海大学のラベンダーフェスティバル会場」、4位「ファイターズ優勝パレード」、5位「札幌テレビ塔」、6位「もいわ山麓駅の『モーりす』」、7位「市電のある光景」、8位「ぐるり市電アフター5の旅」、9位「藻岩山」、10位「モエレ沼公園」。)

人気投票で当選した景観は、都市計画に関する情報も盛り込み、遊べて学べる「景観まちづくりカードゲーム☆景カード」になります。

「景カード」とは、投票順位が高いほど魅力ポイント(MP)が高くなり、対戦する際に優位となるトレーディングカード。子供も大人も遊びながらまちの表情等を景観と気付き、今後、景観まちづくりのツールとして、小学校の教材や町内会の地域資源PR資料とするなど、地域の自主的な作成や展開が期待されます。

※詳しくは[札幌市HP](#)をご覧ください。



トークイベント「景観大喜利」

司会者から出された様々なまちの表情などをお題に、演者が気の利いた楽しい表現で回答! 「座布団1枚!」



選挙特番風の演出「さっぽろ景観総選挙」の様子
開票結果速報、当選した景観はどこだ!?



「さっぽろ景観総選挙」で、栄えある
1位となったのは「石山緑地」↑



事業者向け説明会「住宅取得に係るすまい給付金制度及び 長期優良住宅化リフォーム推進事業に関する説明会」の開催

国土交通省では、住宅取得者への的確な情報提供を行っていただくため、住宅取得に係るすまい給付金制度及び住宅ストックの質の向上を図る長期優良住宅化リフォーム推進事業に関する事業者向けの説明会を開催しますので、お知らせします。

【道内の開催①】

開催日時 平成26年2月21日(金) 15:00~16:30
開催場所 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目)
定員 1100名

【道内の開催②】

開催日時 平成26年3月20日(木) 10:00~11:30
開催場所 札幌市 共催ホール(札幌市中央区北4条西1丁目共催ビル6階)
定員 650名

【内容】(H25年度補正予算及びH26年度予算の成立状況等を踏まえ、時期によって内容が変わる可能性があります。)

○住宅取得に係るすまい給付金制度

※平成25年7月25日報道発表「消費税率引上げに伴う住宅取得に係る対応の周知について」([本省HP](#))において実施した「住宅関連税制とすまい給付金に関する説明会」(道内各地で8~10月に開催)と比べ、申請方法に重点を置いた内容です。

○長期優良住宅化リフォーム推進事業

【参加方法】

下記のホームページ、FAX又は電話により、参加申し込みを受け付けます。
なお、事前申し込みがない場合でも参加できますが、会場の定員を超えた場合には参加できない場合がありますのでご了承ください。

【事業者向け説明会の参加申込先】

ホームページ：<http://jutaku-setsumeikai.jp/>
FAX：0120-339-676(24時間受付)
(FAXの場合は、[別紙2「参加申込書」](#)に記載の上で上記までお申し込み下さい。)
電話：0120-339-170
(受付時間：9:00~18:00(当面、土日祝日も開設いたします。))

【問い合わせ先】

国土交通省住宅局住宅生産課
課長補佐 佐々木 雅也 係長 原口 統、島田 廉
TEL：(03) 5253-8111 (内線39448、39431)、(03) 5253-8510 (夜間直通)
FAX：(03) 5253-1629

※「消費税率の引上げに対応した住宅関連税制とすまい給付金について」は、[「まちづくりメールニュース vol.214」](#)で紹介しています。

※消費者向け説明会(すまい取得応援セミナー&展示相談会)については、順次[「すまい給付金HP」](#)等でお知らせします。

「平成25年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会」の開催

国土交通省都市局では、歴史的風致や景観を形成する町家等の建造物を保全・活用するため、その隘路となっている資金や人材の確保、修理工法等の技術的知見の確立といった共通課題について、課題を抱える地域を対象として実証等により解決方策を導き出す取組の提案を募集し、優れた取組提案を選定して応募者へ調査を委託しています。

平成25年度は、全国13地域で取組が実施されており、この調査成果の報告会をテーマごとに分けて3部制で下記のとおり開催しますので、お知らせします。

【日 時】 平成26年3月5日（水）10:00～17:00

【場 所】 中央合同庁舎2号館地下2階 講堂（東京都千代田区霞が関2-1-2）

【テーマ】（各調査概要は[こちら](#)）

第1部：広域的な歴史まちづくりの専門家組織の育成

団体名：小田原市（神奈川県小田原市）、公益社団法人静岡県建築士会（静岡県）、
NPO法人古材文化の会（京都府京都市）

第2部：民間資金の導入による町家等の歴史的建造物の修理・活用等の促進

団体名：長浜まちづくり株式会社（滋賀県長浜市）、国府地区まちづくり協議会（三重県志摩市）、
黒石市（青森県黒石市）、山王町家再生協議会（山形県鶴岡市）、輪島市（石川県輪島市）

第3部：伝統工法と現代工法の組合せによる歴史的建造物保全システムの構築

団体名：宇佐市（大分県宇佐市）、荻ノ島地域協議会（新潟県柏崎市）、NPO法人しらかわ建築サポートセンター（福島県白河市）、NPO法人チャチャチャ21（福島県須賀川市）、江津市（島根県江津市）

【主 催】 国土交通省都市局公園緑地・景観課

※報告会はどなたでも参加いただけます。（参加無料）

※本報告会の聴講を希望する場合は、2月26日（水）までに下記問い合わせ先へ電話又はFAXでご連絡ください。（定員に達し次第、受付終了）

【担当・問い合わせ先】 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室
電話 03(5253)8111(内線 32987)、直通 03(5253)8954
FAX 03(5253)1593 ※申込様式は[こちら](#)（エクセル）

平成24年度歴史的風致維持向上推進等調査の成果について

歴史的風致維持向上推進等調査は、平成24年度から実施しており、平成24年度における本調査の実施状況については、[国土交通省HP](#)に掲載していますので、参照ください。